

北ア 裏銀座～読売新道～黒部ダム 烏帽子岳～水晶岳～赤牛岳～読売新道

実施日 2023年8月23日(水)～27日(日)

天候 晴れ・曇り

リーダー 峯川 弘子

参加者 峯川弘子 計1名

費用 信濃大町駅往復6,597円

市営駐車場5日間1,500円 代1,900円+600円

代1,800円+1,650円

宿泊費：49,750円/4泊

タイム 【2日目】宿(5:00-5:14)高瀬ダム(5:40)裏銀座登山口(9:20)三角点(12:00)烏帽子小屋(12:35)前烏帽子岳(13:15)烏帽子岳(14:30)烏帽子小屋 泊

【3日目】小屋(5:50-10:25)野口五郎岳(10:45-11:25)真砂岳沼(13:50)東沢乗越(15:00)水晶小屋 泊

【4日目】小屋(5:10-6:05)水晶岳(7:35)温泉沢ノ頭(10:35)赤牛岳(11:10-14:00)4/8標識(17:20)奥黒部ヒュッテ 泊

【5日目】ヒュッテ(6:05-8:40)平ノ渡し場(10:20-10:35)平の小屋分岐(14:40)ロッジくろよん(15:00-16:35)黒部ダム(16:51)扇沢駅(17:40)信濃大町駅

【8/23】自宅から富士山号で出発、静岡は朝から雨が降っていたが中央高速から長野自動車道に入ると晴れ。SAに立ち寄りながらのんびりドライブで信濃大町駅の市営駐車場に到着。(何日停めても最大の料金1,500円、登山者に優しい町だ。)七倉山荘宿泊者限定のシャトルタクシーで宿へ。

目の前が七倉登山口の駐車場ではほぼ満車だがこの日の宿泊者は3人、夜到着して車中泊が多いそうだ。夕飯は愛知から来たという同年代の男性2人と1つの鉄板でテラス席でミニBBQ形式。なんと今回水晶岳で100名山達成で翌々日にまたここへ下山してくること、前祝いで盛り上げてしまった。

【8/24】高瀬ダムへのゲートが開くのは5:00、宿の前の乗場はすでに車中泊や明け方着のバスで到着した登山者が並んでいるが、この宿では宿泊者が1番のタクシーに乗れるよう自分のザックを置いてくれている。4人の相乗りで高瀬ダム、そこからスタート。相乗りした単独行の女性と暗いトンネルを抜け河原を歩いて裏銀座登山口へ到着、急登が始まる。

ブナ立尾根は樹林帯の中、日差しがさえぎられるのは助かるが暑い。



よく整備され小屋までの歩行時間も短い。それでも後続のタクシーに乗車した方々と追いつかれ、昨日山荘前で車中泊の京都から来た面白いご夫婦と抜きつ抜かれつで予定タイム通りに小屋に到着。

昼食を食べていると突然の激しい雨、30分ほど待機していると雨はやみ少し青空も出てきた。この間にサブザック

で烏帽子岳往復、前烏帽子を
 過ぎるか船々を雨きかて！
 たら。岩帽子は残念頂は狭
 眺望はたっくる前
 尖っくゆっくになる前に



ない、とにかく雨になる前に
 小屋に戻ろう。

急ぎ目で小屋に到着し缶ビ

ールでひと息つ
 いた頃また雨が
 降ってきた。小
 屋スタッフさんの
 話ではこの夏は晴
 れていてもずっと
 こんな感じのこ
 とでした。



【8/25】今朝は快晴、朝食弁
 当のおにぎりをお茶でもな
 み出発。稜線に出る、でも
 海が広がっている、ムカ
 となく胃のムカ



三ッ岳手前から左に見事な、槍
 ケ岳がお目見え、小槍を携え、初
 めての裏銀座爆と野が遥
 ション共小
 上がと郎
 赤牛五郎
 口近くなる



の一口景色か
 一野絶側上雲
 ！ずて左にたか
 のし止にきたき
 た山そ休急きて
 き富士？大とっ
 山富岳。るいが
 富士？に着湧上
 富岳八到てがら
 に北はにし雲か
 遠くは側能に谷
 か右と五をのら
 むらちよゴの自
 然の光景に少し
 幸い雨にならず
 上げ竹村新道分
 あと2時間で水
 晶小屋まではな
 言っていた。時
 より1時間押し
 オイレと室内が
 いて快適、せま
 い時は再開通し
 新道と湯ノ俣山
 大盛り上がり
 でした。

【8/26】今日は本丸、長丁場、
 人少ない、このコースの為
 購入した、か音が出る熊鈴
 を装着。でも朝食弁当の明
 りを。お茶で流し込みは水
 へ、突然奥黒単独登山道
 で止まる。上方に振り返り
 横切った、振り返らないん
 らく同行させてもらって
 すか？「もちらん
 私もお強いです！」
 声でブッコ（笑）
 水晶岳到着、2015年より

の一口景色か
 一野絶側上雲
 ！ずて左にたか
 のし止にきたき
 た山そ休急きて
 き富士？大とっ
 山富岳。るいが
 富士？に着湧上
 富岳八到てがら
 に北はにし雲か
 遠くは側能に谷
 か右と五をのら
 むらちよゴの自
 然の光景に少し
 幸い雨にならず
 上げ竹村新道分
 あと2時間で水
 晶小屋まではな
 言っていた。時
 より1時間押し
 オイレと室内が
 いて快適、せま
 い時は再開通し
 新道と湯ノ俣山
 大盛り上がり
 でした。

時間がかかって
る、(8年経過し
てるもんね泣)
鷲羽から槍、黒
部五郎、目の前
に薬師の絶景に
また会えたー！
ここからいよいよ
未知の登山道へ、今回は単
独なのでハードルも上がる。
さっきのお兄ちゃんは先行し
て姿もみえない、気を引き締
めて行こう！岩々を慎重に下
降、標高を下げては行くがピー
クの登り返しに息があがる、
左側にはどでかい薬師、カー
ル、その下は一般者が踏み込
めない奥と上の廊下、遠方に
雲ノ平山荘、温泉沢ノ頭近く
になると下の方に高天ヶ原山
荘が小さくみえた。前方に本
丸赤牛岳、絶景に助けられ幾
度かのピークの登り返しに息
を切らしようやく到着、山頂
わっしょーい！！



大喜びしてい
るとハイマツ
の影で休憩し
ていた単独の
女性が笑顔で
こっちを見て
いた。なんと奥黒部ヒュッテ
から上がってきたこのこと、
上高地のガイドハウスで働い
ているという山女の方で写真
を撮ってもらい黒部湖までの
新鮮な登山道情報を入手でき
たのは何よりありがたかった。
挨拶をしてお別れ、下山開
始。ガレて滑りやすい急下降、
次々と出てくる崩壊地、ピー

クの登り返しはまだよかった
が、樹林帯に入った標識4/8
からは大木の根や苔だらけの
滑る大岩、石の登山道でヤマ
ップで道を確認したり3/8ま
で進むのに小1時間くらいか
がってしまった。途中電波が
入ったところで奥黒部ヒュッ
テに到着予定時間が1時間ほ
ど遅れることを連絡。(奥黒
部ヒュッテは室堂山荘で予約
だが今回単独なので緊急時の
為に直通の番号を聞いておい
て良かった。)この樹林帯は1
6時過ぎると暗い、事前リサ
ーチのヒュッテ周辺の熊の出
没情報も岩場より怖い。ピッ
チ上げられられない気の抜けな
い道を下って下ってようやく
歩きやすい道になった、ホッ
として進むと突然奥黒部ヒュ
ッテがあらわれた、やったー！
建物前の水場で冷たい水を空
のペットボトルに入れ一気に
飲み干してから受付。到着遅
れを詫びると「歩行の速度よ
りここまで到達することが大
事なんだからいいんだよ。」
事なんという優しいお言葉、「前
情報で熊も怖くて」と言う
「熊？ここは大丈夫だよ、こ
の辺の熊は昼間に出てくるか
ら今の時間は大丈夫！」とヒ
ュッテご主人、「やっぱり出る
んかーい！」と絶望感の私(笑)
【8/26】6時からの朝食食べ
ても10:20の渡しには間に合
うよとヒュッテご主人に言わ
れたが、昨日の自分の歩行で
不安なので(水晶小屋から出発

した若い単独男性2名と71歳と61歳の女性2名の中で到着(ギリ)食堂で朝食弁当と温かいお味噌汁を頂き6時に出発。

相変わらず熊の恐怖はある、



昨日までの標高差はないものの渡渉、次々と現れる落ちそうな梯子の登下、踏み外せば黒部湖に真っ逆さまだ。

最初は緊張するがだんだん慣れて途中から木々の間から見える黒部湖の風景を楽しんでいた。途中単独男性2名に

追い越され楽しみにしていった平ノ渡し場に到着、ほど



なく昨日相部屋で話が弾んだ女性2名も到着(ほんとに歩くの早いわ、この人達笑)感心しながら時間がたっぷりあるのでコーヒーと行動食のフィナンシェで普段見られない位置からの黒部湖を満喫した。そして渡し船が到着、待ちに待った瞬間、ライフジャケットを着て乗り込む。乗船客で写真を撮り合い対岸へ到着、このまま黒部ダムまで運んで

くれればいいのに(笑)ここからロジックくろよんまで登山道3時間30



分、アップダウンありで水平ではない、最後のこの体力と気力が残っていないとつらい、へろへろで到着。絶対に冷たいコーラを飲むぞと決めていたがなんと本日よりしばらく休業との張り紙が(泣)コロナ発生かな?

ここから黒部ダムへは一般道、熊の心配もない、集中力が途切れ、達成感と共にどっぴりと疲れを感じた。大橋を渡り黒部湖ともお別れ、観光放水している黒部ダム、登山も知らない20歳の頃今は亡き母とすぐ上の姉と車で3人で来た思い出の場所、それから登山

で自分が幾度となく訪れるとは思ってもいなかった。郷愁にかられしばらくたたずんでしまった。これで北ア大縦走は最後かな?今度は孫と一緒に観光で来れたらいいな!(えっ?ここは夫婦で一緒になって書けて?)



(記&写真・峯川 弘子)